

# 5604-0481 プロフェッショナル・グリップング・ステーション 取扱説明書

## 《製品の概要》

小～中規模工房向けの業務用グリップング・ステーションです。5604-0261 ベンチマウント・グリップング・ステーションに、剥離紙を巻き取り可能なグリップテープ・ディスペンサー、専用スタンド等を加えた製品で、専用スタンドは各種用品をストック可能なトレイやボトル・ホルダー、更にクラブ・レストを備え、高さ調整機能により、作業者に合わせた設定が可能。スタンドは、スタンド・ステップ上での作業により、作業者の体重で安定させることができます。

## 《製品構成・各部の名称》



※ネジ等、組立に使用する部品については、次ページをご参照下さい。

## 〔グリップ装着時、別途、ご用意頂くもの〕

### ○グリップ・テープ

クレープ紙= BF01J: 幅20mm × 33m, BF01K: 幅50mm × 33m

和紙= 6766-0001: 幅20mm × 5m, 6766-0002: 幅20mm × 10m, 6766-0003: 幅20mm × 30m, 6766-0004: 幅50mm × 30m

### ○グリップ溶液

LG03: グリップ交換溶液エアゾール 100ml, GV0691: グリップ交換液180ml, LG398: グリップ交換溶液エアゾール 480ml, LG398: グリップ交換溶液 業務用1000ml等)

## 〔グリップ再利用のための抜き取り時、別途、ご用意頂くもの〕

### ○グリップ・リムーバー

5604-0041: グリップ・リムーバー・スティック, 5604-0431: グリップ・リムーバー・スティック 20インチ(中・長尺パターングリップ用), 5650-0001: グリップ・リムーバー・ガン, 5604-0231: エアコンプレッサー式 グリップリムーバー

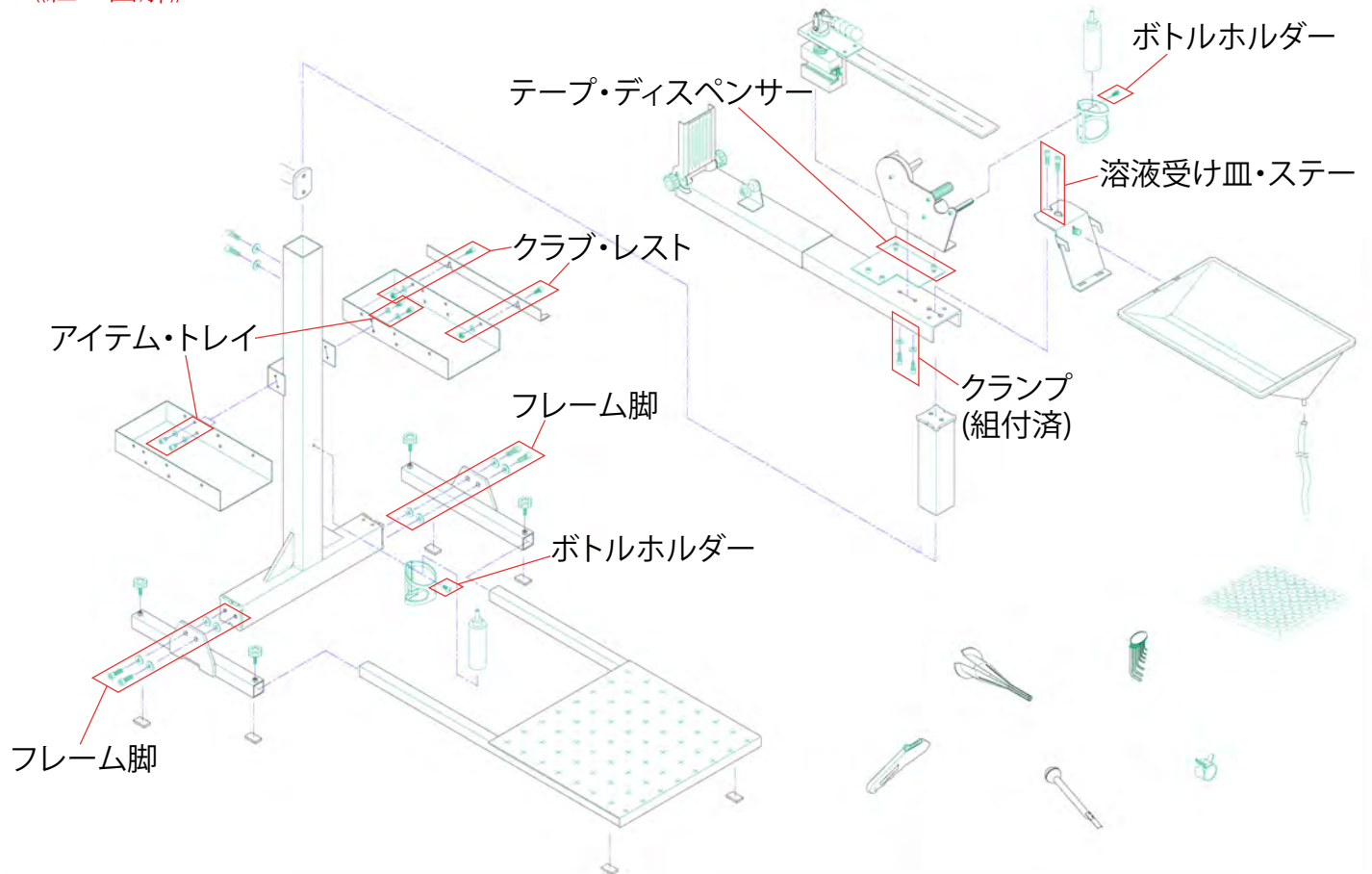
## ※※ 使用上の注意 ※※

- ・ご使用の際には、万一の事故防止のため、防護手袋や長袖の着衣により、身体を保護した上で、作業して下さい。
- ・グリップ溶液の取扱いには、十分ご注意下さい。溶液を再利用する場合、グリップテープの粘着剤の種類によっては、粘着成分が溶液中に溶け出し、再利用に適さない場合もありますので、再利用される前に、ご確認下さい。

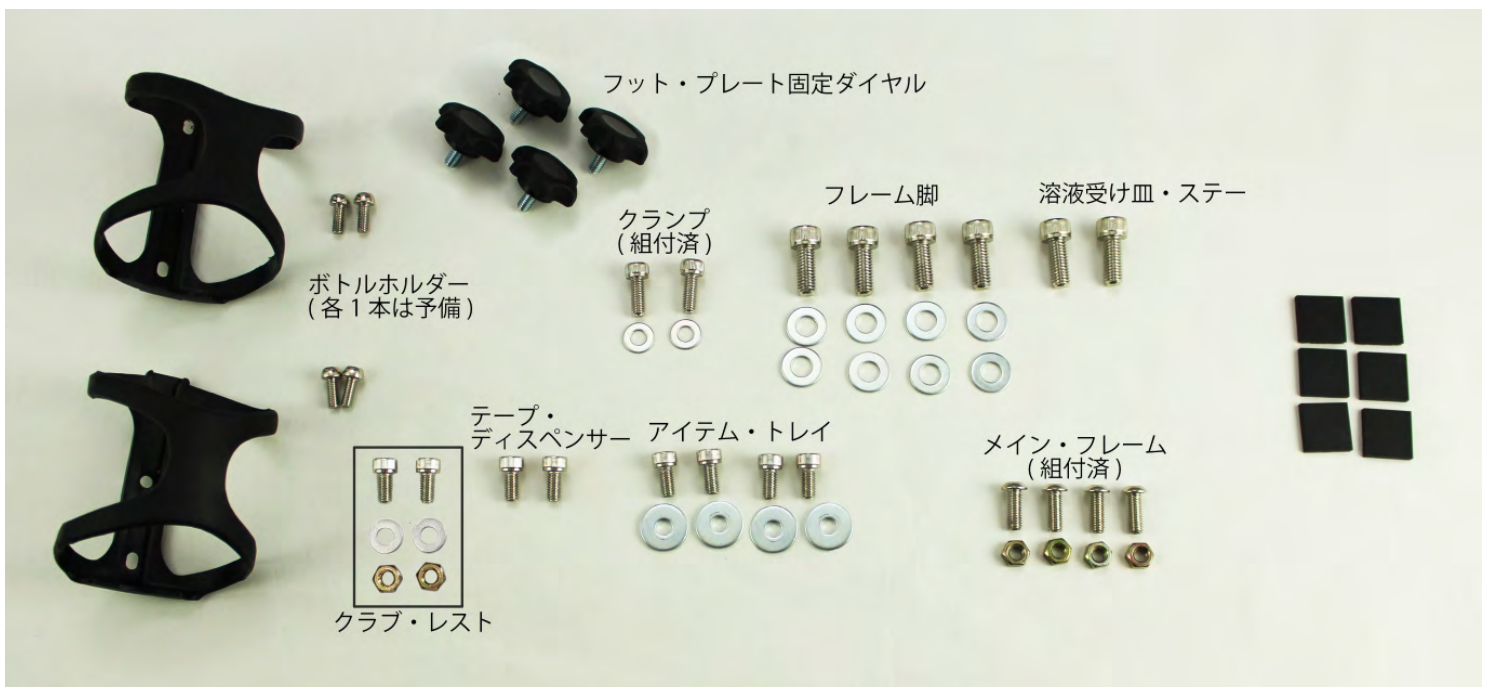
## 《設置・組立方法》

- (1) 別添の組立図解を参照し、メイン・フレームとフット・プレートを組み立ててから、上部を固定して下さい。その後、ヘッド・ガイド・プレート部や溶剤タンク、テープ・ディスペンサーやアイテム・トレイ等を組み付けます。
- (2) 特に記載のないネジについては、スタンドや本体の当該箇所に仮留めされています。エア・コンプレッサーや、空圧器具用のエア・ホースは、各端部の区別を参考に、接続して下さい。
- (3) 溶剤タンク底部には、ドレーン・バルブを取り付けてから、ホースを接続します。

## 《組立図解》

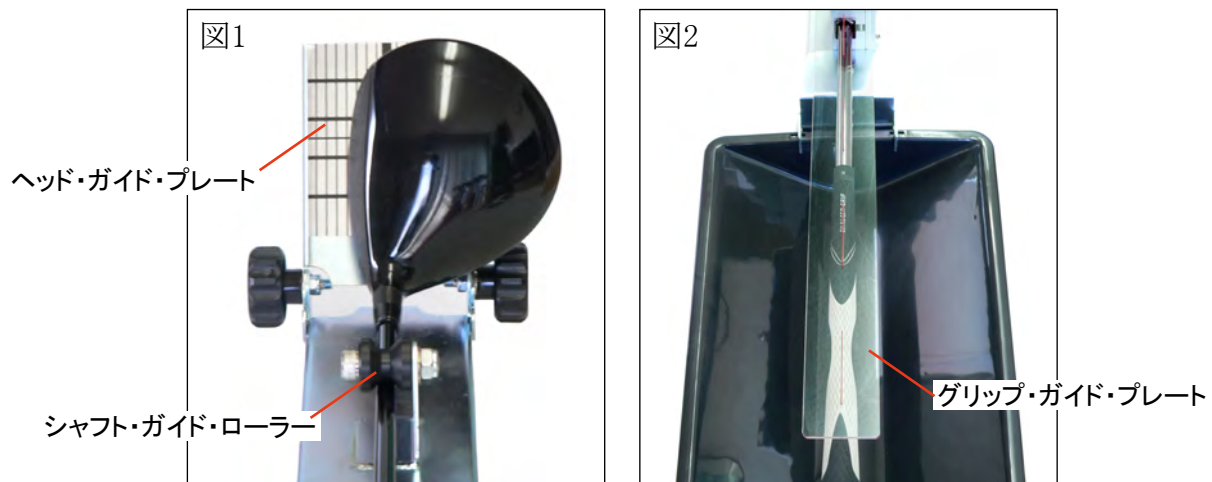


## 《組立用部品の種類と使用箇所》



## 《グリップ装着作業》

- (1) クランプ・ハンドルを操作し、シャフト・クランプを開いた状態で、ヘッドを接着したシャフトをシャフト・ガイド・ローラーの下側を通して(図1)、クランプの中央に置き、ヘッド・ガイド・プレートをヘッドで押しながら、シャフト・バットのグリップ装着部分が、溶液受け皿上に来るように、クランプする位置を調整します。グリップ・ガイド・プレートは、作業の邪魔にならない方向に向けておきます。
- (2) ヘッド・ガイド・プレートの位置が決まったら、シャフトをシャフト・ガイド・ローラーの上に置き、図1のように、ヘッド・ガイド・プレートの目盛を利用して、フェイスの向きを調整します。必要に応じて、ヘッド・ガイド・プレートの角度を調整し、最適な角度で向きを合わせたら、クランプ・ハンドルを操作して固定します。シャフト・クランプ上のダイヤルを調整することで、シャフトの太さに応じ、クランプする強さを調整することが可能です。
- (3) グリップの長さを計測した上で、グリップ先端をシャフトのどの部分まで挿せばよいか確認し、先端よりも約1~2cm、バット側にマーキングした上で、シャフトの表面を脱脂し、グリップ・テープをバット端からマーキング箇所まで貼り付けます。貼り付け方法は、螺旋巻きや折り返し等、テープの幅や必要なグリップの太さに応じて異なります。(詳しくは、<http://www.geotechgolf.com/dg/manual/tejun11.html>をご覧ください)
- (4) グリップのエンドキャップの穴を指で押さえて、グリップ溶液をグリップ内部に流し込み、ゆっくりと振って、内部にまんべんなく行き渡らせます。
- (5) シャフトのグリップ・テープ全体に溶液をかけ、すばやくグリップを装着します。装着後は、グリップの伸縮を直し、図2のように、グリップ・ガイド・プレートをシャフト軸に合わせて、グリップのマーキング等がガイド・プレートのラインに一致しているか確認し、必要に応じて修正して下さい。ガイド・プレートのラインには、立体的な色付けがされており、最も細く見える位置が正しい視点になります。バットエンドの外径が大きいシャフトや、グリップ先端の内径が小さなグリップでは、付属のグリップ・インストーラーを使用すると、スムーズに装着できます。
- (5) エンドキャップまでしっかりと挿入されているか、事前に計測した長さで挿入されているか等、確認した上で、グリップ先端やエンドキャップをグリップ溶液で清掃し、乾燥させて完成です。



## 《グリップ切除・抜き取り作業》

※グリップ切除については、付属のグリップカッター使用方法を、グリップ抜き取りについては、別売のグリップ・リムーバー・スティック(5604-0041、5604-0)、グリップ・リムーバー・ガン(5650-0001)、エアーコンプレッサー式グリップリムーバー(5604-0231)の各取扱説明書をご参照下さい。いずれの作業においても、本品を用いることで作業性が格段に向上します。